

### 小学校の実践事例

#### ボランティアやコーディネーターが多様な体験活動を支援している事例

小平市立小平第六小学校では、「地域の風がいきかう学校」のスローガンの下、ゲストティーチャーや学習支援ボランティアなど年間延べ2500人を越える地域の人々が学校教育に参画しています。平成14年度には、学校教育活動を支援する「六小コーディネーター部会」が発足し、ボランティアと先生方の調整や企画事業の実施など新たな活動を展開しています。

6年生の「マイテーマ」（総合的な学習の時間）では、児童一人一人の興味・関心に基づき、地域の商店や専門家の方を訪ねて「調べ学習」を行い、お世話になった方々を招いて一人一人がプレゼンテーションをする公開発表会を実施しています。

### 中学校の実践事例

#### 地域性を生かして4日間の職場体験活動を実施している事例

渋谷区立鉢山中学校では、平成13・14年度の研究主題を「自らの生き方を意欲的に学ぶ生徒の育成」とし、14年度からは「職業体験」を通して「生き方」をテーマの中心にすえて取り組んでいます。

「職業体験」は、①自己の生き方を考えられるもの、②継続的に続けられるもの、③中学3年間を通して考えられるものという三つの条件から設定した分野。体験の受入先は職業別電話帳で調べて電話をかけ、保育園、和菓子製菓店、ゲームソフト開発会社、マンガの専門学校、スタイリスト向けの服飾専門学校など、現在では100以上の職種を確保し、交通アクセスの良さという地の利を活かして4日間の職業体験を実施しています。

#### 地域や大手企業等の協力を得て多彩な体験活動を実施している事例

墨田区立本所中学校では、「自らの生き方を考える」という「ねらい」が共通する「進路指導」を柱として「総合的な学習の時間」（本所中学校では「かしわ学習」と呼ぶ）を実施し、地域の人を学校に招いたり、地域に出かけたりして、地域の人とともに学習を深める取組をしています。

「職場体験学習」では、受入先などの地元青年会議所の全面的な協力を受けて実施しています。また、経済界の方々を招いた11クラス一斉の公開授業や、国際的な大手企業の社員40名の方の協力を得て行った「すみだの街のエジソンになろう！」、など、外部の教育支援団体の橋渡しにより、地域だけではなかなか出会うことが少ない企業などと連携した教育活動を展開しています。